

平成25年度（平成24年度対象）

教育委員会の点検・評価（案）

平成25年9月
徳島県教育委員会



【目次】

第1章 はじめに	1
1 趣旨	
2 点検・評価の対象	
3 点検・評価の方法	
4 構成	
第2章 教育委員会活動報告	5
1 教育委員会組織	
2 教育委員会の会議等開催状況	
3 その他の活動	
第3章 平成25年度（平成24年度対象）点検・評価項目実績値等一覧表	13
第4章 平成25年度（平成24年度対象）点検・評価概要（基本方針ごと）	23
第5章 平成25年度（平成24年度対象）点検・評価結果	39
基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現	41
基本方針2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現	48
基本方針3 信頼される教育環境の実現	72
基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現	85
基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現	90
基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現	95

第1章 はじめに

第1章 はじめに

1 趣旨

県教育委員会では、「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」を基本目標とし、徳島ならではの教育の振興に取り組んでいます。

平成19年6月に公布された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月1日から、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

このため、県教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、県民の皆様への説明責任を果たすため、今年度も「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象として、平成24年度における教育委員会の活動状況のほか、「徳島県教育振興計画」（平成20年10月28日策定）に基づく主要施策を対象とすることとしています。

「徳島県教育振興計画」の主要施策については、前年度分の実施状況の検証及び数値目標の達成状況の点検を、毎年度行います。

3 点検・評価の方法

- (1) 教育行政の諸施策や事務事業の取組状況について、点検・評価を行い、今後の課題や取組の方向性を明らかにします。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、外部有識者からなる第三者機関「徳島県教育行政・点検評価委員会」において、ご意見・ご助言をいただきます。

○徳島県教育行政点検・評価委員会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏 名	役 職
桑 原 恵	徳島大学総合科学部教授
椎 野 正 敬	徳島県高等学校PTA連合会会長
高 畑 富士子	AWAおんなあきんど塾会員
中 川 朋 子	JICA四国 国際協力推進員
中 村 昌 宏	徳島文理大学総合政策学部長

4 構成

(1) 教育委員会活動報告

教育委員の就任状況や教育委員会の会議の開催状況等について記載しています。

(2) 点検・評価項目実績値等一覧表

「徳島県教育振興計画」の6つの基本方針ごとに、重点的に取り組む事業を分類し、表にまとめています。

事業ごとに、現況値、平成24年度の実績値、目標値、その目標値に対する達成率を記載するなど進捗状況を明らかにしています。

(3) 点検・評価結果(基本方針ごと)

6つの基本方針ごとに、平成24年度における主な取組を記載するとともに、取組状況を踏まえた評価(成果と課題)及び評価を踏まえた今後の主な取組と方向性などを示しています。

(4) 点検・評価結果

6つの基本方針に分類された事業ごとに、事業目的と平成24年度における取組状況(進捗状況)を記載するとともに、取組状況を踏まえた評価(成果と課題)及び評価を踏まえた今後の取組及び方向性などを示しています。

第2章 教育委員会活動報告

第2章 教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

○委員の就任状況（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

氏名	平成25年3月31日現在の役職	異動状況
佐藤 絃子	委員長	H24. 8. 4 委員長就任
水口 艶子	委員長職務代理者	
筒井 直典	委員長職務代理者	H24. 8. 4 職務代理者就任
西 泰宏	教育委員	H24. 7. 22 教育委員就任
田村 典子	教育委員	H24. 10. 26 教育委員就任
佐野 義行	教育長	H24. 4. 1 教育委員就任 H24. 4. 1 教育長就任
佐藤 盛仁		H24. 7. 21 教育委員退任
西池 氏裕		H24. 8. 3 委員長退任 H24. 10. 25 教育委員退任

2 教育委員会の会議等開催状況

原則月2回定例会を開催した。

また、今後課題となる重要な案件について、事前に理解を深めるため、委員勉強会を開催した。

(1) 平成24年度の会議開催状況

定例会：21回 臨時会：0回 委員勉強会：11回 計 32回

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会		1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	3	21
臨時会														0
委員勉強会		1	2	1	1		1	2		1		1	1	11
計		2	4	3	3	2	3	4	2	2	1	2	4	32

(2) 平成24年度の議案等の付議状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
議案		5	3	1	6	1	1	6	4	2	4	2	13	48
協議即付議事項		1	3	4	1	1	1	2	4		2	3	5	27
協議事項													1	1
報告事項		3	2	1	5	4	6	5	2		2	2	9	41
計		9	8	6	12	6	8	13	10	2	8	7	28	117

3 その他の活動（主なもの）

（1）会議等への参加

○発達障害者総合支援ゾーンオープニングセレモニー

日 時 平成24年4月1日（日）
場 所 みなと高等学園
参加者 教育委員 6名（うち1名 教育長）
内 容 ・式典

○県・市町村教育行政連絡協議会

日 時 平成24年4月5日（木）
場 所 総合教育センター
参加者 教育委員 5名（うち1名 教育長）
内 容 ・平成24年度教育重点施策説明等

○吉野川高等学校開校式

日 時 平成24年4月9日（月）
場 所 吉野川高等学校
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○鳴門渦潮高等学校開校式

日 時 平成24年4月9日（月）
場 所 鳴門市文化会館
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○みなと高等学園開校式

日 時 平成24年4月10日（月）
場 所 みなと高等学園
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○県立学校長会

日 時 平成24年4月13日（金）
場 所 総合教育センター
参加者 教育委員 2名（うち1名 教育長）
内 容 ・平成24年度主要施策等

○全国都道府県教育委員会連合会平成24年度第1回総会等

日 時 平成24年7月18日（水）～19日（木）
場 所 徳島グランヴィリオホテル
参加者 教育委員 6名（うち1名 教育長）
内 容 ・協議

「平成23年度一般会計、特別会計歳入歳出決算」

- 「平成25年度国の施策並びに予算に関する要望」等
・意見交換
「今後の初等中等教育施策について」 等

○公安委員会と教育委員会との意見交換会

日 時 平成24年10月18日(木)
場 所 教育委員室
参加者 教育委員 5名(うち1名 教育長)
内 容 ・通学路等における子どもの交通安全対策について等

○城北高等学校創立70周年記念式典

日 時 平成24年10月20日(土)
場 所 城北高等学校
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○四国4県教育委員意見交換会及び教育長会並びに教育委員総会教育長会合同総会

日 時 平成24年10月31日(木)
場 所 徳島グランヴィリオホテル
参加者 教育委員 6名(うち1名 教育長)
内 容 ・協議
「四国4県による平成25年度国の施策並びに予算に関する要望」等
・意見交換

いじめ問題に対する特色ある取組について

「いじめ問題に対する特色ある取組について」

○池田高等学校創立90周年記念式典

日 時 平成24年11月10日(土)
場 所 池田高等学校
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○城東高等学校創立110周年記念式典

日 時 平成24年11月22日(木)
場 所 城東高等学校
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○富岡東中学校・高等学校創立100周年記念式典

日 時 平成24年11月23日(金)
場 所 阿南市民会館
参加者 教育委員 1名
内 容 ・式典

○県・市町村教育委員会教育委員等研修会

日 時 平成24年11月6日(火)

場 所 総合教育センター

参加者 教育委員 4名

内 容 ・事例発表

「北島町教育委員会の取組について」

「板野町教育委員会の取組について」

・文部科学省 講演「幼児教育の現状と課題について」

○全国都道府県教育委員会連合会平成24年度第2回総会等

日 時 平成25年1月22日(火)

場 所 フロラシオン青山(東京都)

参加者 教育委員 1名

内 容 ・協議

「平成25年度全国都道府県教育委員会連合会事業計画について」

「平成25年度全国都道府県教育委員会連合会一般会計歳入歳出予算について」等

○第27回国民文化祭徳島県実行委員会第3回総会

日 時 平成25年3月26日(火)

場 所 徳島グランヴィリオホテル

参加者 教育委員 2名(うち1名 教育長)

内 容 ・議題 平成24年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
第27回国民文化祭徳島県実行委員会の解散について 等

(2) 学校視察等の実施

○第1回県内学事視察

日 時 平成24年6月26日(火)

場 所 鳴門渦潮高等学校、徳島科学技術高等学校

参加者 教育委員 6名(うち1名 教育長)

内 容 ・授業参観

・施設見学

○第2回県内学事視察・さわやかトーク

日 時 平成24年12月4日(火)

場 所 佐那河内村佐那河内小・中学校

参加者 教育委員 6名(うち1名 教育長)

内 容 ・授業参観

・施設見学

・意見交換

「小中一体型校舎における小中連携教育の在り方について」

○県外学事視察

日 時 平成24年10月15日(月)～16日(火)
場 所 福井県：教育庁、三国南小学校、三国南中学校
参加者 教育委員 4名
内 容 ・授業参観
・施設見学
・意見交換
「学力・体力向上の取組、学校・家庭・地域の連携」

○第3回県内学事視察・第1回教育ふれあい懇談会

日 時 平成25年2月1日(金)
場 所 海部高等学校
参加者 教育委員 5名(うち1名 教育長)
内 容 ・施設見学
・意見交換
地域の防災活動に取り組まれている方 6名
テーマ「地域とつなぐ防災教育の推進のために」

(3) その他

○教員採用候補者選考審査 第二次審査

日 時 平成24年8月21日(火)、22(水)、24日(金)、25日(土)、26日(日)、27日(月)、
28日(火)
場 所 鳴門教育大学附属小学校、総合教育センター
参加者 教育委員 5名(うち1名 教育長)
内 容 ・模擬授業及び個人面接の審査

○藍青賞表彰式

日 時 平成24年10月27日(土)
場 所 総合教育センター
参加者 教育委員 2名(うち1名 教育長)
内 容 ・受賞者の表彰

○教育委員会関係職員表彰

日 時 平成24年12月28日(金)
場 所 県 庁
参加者 教育委員 2名(うち1名 教育長)
内 容 ・受賞者の表彰

○藍青賞表彰式

日 時 平成25年2月23日(土)
場 所 総合教育センター
参加者 教育委員 2名(うち1名 教育長)
内 容 ・受賞者の表彰

○教育委員会関係職員表彰

日 時 平成25年 3月29日(金)

場 所 県 庁

参加者 教育委員 2名 (うち1名 教育長)

内 容 ・受賞者の表彰

第3章 平成25年度（平成24年度対象）
点検・評価項目実績値等一覧表

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年度)	進捗状況 (23年度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値	年度	備考
											年度	
基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現												
1	「家庭教育支援者養成講座」受講者数（累計）	人	1,268	1,372	1,431	1,515	1,572	1,604	100.3%	1,600(累計)	24	H24見直し
2	子どもの読書活動推進に関するイベント参加者数（累計）	人	2,156	3,376	5,217	7,402	9,080	10,777	113.4%	9,600(累計)	24	H24見直し
3	「学校・家庭・地域の連携支援ネットワーク」の養成を推進	—	—	—	—	—	—	推進	—	推進	24	H24新規
4	「学校支援地域本部」の実施市町村数	市町村	—	5	9	10	5	5	20.8%	全市町村(24)	24	合わせて推進 14/24市町村 達成率58.3%
5	学校サポーターズクラブ設置市町村数	市町村	—	—	—	—	13	14	93.3%	15	24	№5=H24見直し
6	「放課後子ども教室」実施数	教室	39	55 (累計55)	65 (累計58)	50 (累計60)	48 (累計62)	48 (累計62)	60.0%	80	24	児童クラブとあわせて 全市町村実施
7	「学校関係者評価」実施率	%	32	58.4	67.8	78.1	96.4	平成25年12 月以降判明	—	100	24	
8	「コミュニティ・スクール」モデル校数(累計)	校	2	5	9	11	11	13	100%	13(累計)	24	
9	預かり保育実施率(公私立)	%	67	67	81.2	84.6	88.1	87.6	104.3%	84	24	H24見直し
10	「キャリア教育の手引き(仮称)」の作成・推進	—	—	—	—	—	作成	推進	(達成)	作成	23	
11	高校におけるインターンシップの実施率	%	—	—	—	65.9	77.3	82.9	121.9%	68	24	H24見直し
12	中学校における職場体験の実施率	%	77	82	83.1	95.4	96.5	98.8	100.8%	98	24	H24見直し
13	公立高等学校の授業料不徴収等	—	—	—	—	—	推進	推進	—	推進		
基本方針2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現												
14	「学力・学習状況」改善プランにおける数値目標の達成状況	%	—	69.6	70.3	85.8%	83.6%	84.7	97.4%	十分できた・ 概ねできた学 校の割合 87%	24	
15	「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率	—	—	8項目中4 項目上回っ た	8項目中4 項目上回っ た	8項目中5 項目上回っ た	全国調査の 実施見送り	全国平均正 答率を100 として99.2	99.2%	全国平均正答 率を上回る	24	
16	授業以外で1日30分以上勉強する児童生徒の割合	%	小5 81.8 中2 83.2	小5 82.2 中2 81.5	小5 83.4 中2 84.2	小5 85.3 中2 86.5	小5 84.9 中2 86.6	小5 84.9 中2 87.2	小5 97.8% 中2 98.2%	小5 86.8% 中2 88.2%	24	
17	家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合	%	小5 70.2 中2 60.6	小5 70.1 中2 58.1	小5 66.0 中2 65.5	小5 66.9 中2 55.8	小5 70.1 中2 58.1	小5 90.7% 中2 83.6%	小5 120.6% 中2 127.4%	小5 75.2% 中2 65.6%	24	
18	県民の方々とともに学校教育を考える場の設定	—	—	—	—	—	—	開催	達成	開催	24	H24新規
19	「阿波っすすだち(巣立ち)宣言プロジェクト」の実施	—	—	—	—	推進	推進	推進	—	推進		
20	高校生の進路実現に向けた各学校・学科に応じた取組みの推進	—	—	—	—	推進	推進	推進	—	推進		
21	小中一貫教育についての研究と成果の普及(モデル地域(累計))	地域	3	4	7	11	15	16	100%	16(累計)	24	H24見直し
22	少人数学級(35人を上限とする学級編制)の推進	—	小学1・2 年	小学1・2 年及び中学 1年	小学1・2 年及び中学 1年	小学1・2 年及び中学 1年	小学1・2 年及び中学 1年	小学1・2・3・4 年及び中学 1年	達成	小学4年に新 規導入	24	H24見直し
23	一定規模以上の学級を有する全ての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置	—	25人以上 の学級で継 続実施	25人以上 の学級で継 続実施	25人以上 の学級で継 続実施	25人以上 の学級で継 続実施	25人以上 の学級で継 続実施	25人以上 の学級で継 続実施	—	継続実施	19~ 24	
24	退職教員等外部人材を活用した教育の展開	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		
25	伝統文化を尊重する教育実践研究指定校(累計)	校	7	12	12	16	16	16	72.7%	22(累計)	24	

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年 度)	進捗状況 (23年 度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値	年度	備考
											年度	
26	保護者の有害環境対策フィルタリングの認知率	%	—	86	89.3	92.5	96.8	98.4	98.4%	100	24	H24見直し
27	スクールカウンセラーの全公立小・中学校、県立学校への配置	—	—	推進	推進	推進	配置	配置	達成	推進	24	県立学校を追加 H24見直し
28	スクールソーシャルワーカー数	人	4	5	6	7	8	9	100%	9	24	H24見直し
29	「阿波っ子スクールサポートチーム（ASST）」活動の充実強化	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		
30	「体力アップ100日作戦！」達成率	%	84	89	94.7	93.8	94.1	94.6	99.6%	95	24	
31	体力向上支援プランの策定・推進	—	—	—	策定	推進	推進	推進	(達成)	策定	21	
32	「運動が好きな児童生徒」の割合	%	—	—	—	小5 65.3 中2 62.3	小5 63.3 中2 65.3	小5 65.7 中2 63.3	小5 93.9% 中2 91.9%	小5 70.0% 中2 68.0%	24	
33	学校体育における事故防止に向けた研修会の開催		—	—	—	—	—	実施	達成	実施	24	H24新規
34	柔道実施校（中学校）への外部指導者の派遣を指標に設定		—	—	—	—	—	22	100%	22	24	H24新規
35	専門医派遣回数（累計）	回	—	—	67	97	126	134	104.7%	128	24	H24見直し
36	肥満傾向児の出現率の低減を推進	—	—	—	—	—	推進	推進	—	推進		
37	食育全体計画の策定	—	—	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	達成	全小・中・高・特別支援学校で策定	20	
38	栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施校数	校	—	—	—	123	174	213	96.8%	220	24	
39	学校給食における地場産物活用率	%	50	53	53	56	58	60	100%	60	24	
40	特別支援学校と交流・共同学習等を実施している学校・団体数	校・団体	88	94	78	119	120	131	100.8%	130	24	
41	「個別の指導計画」を作成している学校の割合	%	47	66	95	97.5	100.0	100.0	100%	100	22	
42	「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合	%	—	—	85	87.0	96.0	94.1	97.0%	97	24	H24見直し
43	特別支援教育支援員の配置及び学校における支援体制の充実	—	—	—	—	配置	配置	配置	—	推進		
44	進路開拓のための特別支援学校の教員や就労支援アドバイザーによる事業所等への訪問回数	回	833	918	830	913	1,092	1,283	116.6%	1,100	24	H24見直し
45	とくしま特別支援トータルネットワークの推進	—	—	—	—	—	推進	推進	—	推進		
46	巡回相談員等の支援回数	回	—	—	—	2,165	1,866	1,889	82.1%	2,300	24	
47	通級指導教室の設置数	教室	23(小学校・聾学校)	26(中学校2)	28(中学校3)	33(中学校3)	35(中学校4)	41(中学校4)	達成	中学校にも拡大	24	
48	盲学校・聾学校の改築	—	推進	基本計画	基本設計	実施設計完了	工事(着手)	工事(継続)	(継続実施)	工事(着手)	23	
49	みなと高等学園の整備	—	推進	設計	設計完了	工事	工事	開校	達成	開校	24	平成24年4月開校
50	特別支援学校の全体的な適正配置	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	達成	推進		
51	国府養護学校池田分校の本校化（池田支援学校）	—	—	—	—	開校	→	→	(達成)	開校	22	平成22年4月開校
52	池田支援学校美馬分校の開校	—	—	—	—	開校	→	→	(達成)	開校	22	平成22年4月開校

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年 度)	進捗状況 (23年 度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値		備考
										目標値	年度	
53	特別支援学校勤務教諭の「当該学校が対象とする障害種に対応した免許状」の保有率	%	75	75	73	74	72	74	92.5%	80	24	
54	「新学校版環境ISO」認証取得校数	校	96	140	192	212	231	239	99.6%	240	24	H24見直し
55	学校を拠点とした環境教育の推進	—	—	—	—	—	推進	推進	—	推進		
56	国際理解教育の推進	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		
57	小学校外国語活動を支援する人材を小学校へ配置	—	—	—	推進	推進	推進	推進	—	推進	21.22	
58	ICTを活用して指導できる教員の割合	%	66.1	69.0	70.6	73.9	78.5	平成25年9月頃判明	—	100	24	
59	県立学校における学校情報化の推進	—	—	—	—	—	—	推進	—	推進	24	H24新規

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年 度)	進捗状況 (23年 度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値		備考
											年度	
基本方針3 信頼される教育環境の実現												
60	併設型「中高一貫教育校」の全県展開	校	2	2	2	3	3	3	100%	3	22	
61	徳島科学技術高校の設置	—	—	準備	開校	→	→	→	(達成)	開校	21	平成21年4月開校
62	オンリーワンハイスクールの育成（日本のオンリーワンをめざす）	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		「日本のオンリーワンをめざす」を追加H24見直し
63	高校再編の計画策定	地域	2	5	6	5	5	6	85.7%	7	21	
64	再編計画に基づく新しい学校の設置 ・吉野川高校の開校	—	—	準備	準備	準備	準備	開校	達成	開校	24	平成24年4月開校
	・鳴門渦潮高校の開校	—	—	—	準備	準備	準備	開校	達成	開校	24	平成24年4月開校
	・貞光工業高校・美馬商業高校の再編	—	—	—	準備	準備	準備	準備	—	開校	26	
65	農業教育、商業教育の活性化プランの策定と推進	—	—	—	—	策定	推進	推進	(達成)	策定・推進		
66	産・学・官の連携の推進	—	—	—	—	—	推進	推進	—	推進		
67	私立学校の健全な発達の支援・低所得世帯への修学支援	—	—	支援	支援	支援	支援	支援	—	支援		
68	私立学校の特色づくり、魅力アップ、子育て支援と地域貢献促進、情報発信力強化の支援	—	—	支援	支援	支援	支援	支援	—	支援		
69	公私立学校間の意思疎通の活性化、連携・機能分担の強化	—	—	促進	促進	促進	促進	促進	—	促進		
70	初任者研修、授業力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修、リーダーシップ養成研修の実施	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	—	推進		
71	コンプライアンス推進員を牽引役としてコンプライアンス意識のより一層の醸成に取り組むことを設定	—	—	—	—	—	—	小学校 3.3回 中学校 3.6回 県立学校 5.5回	小学校 110% 中学校 120% 県立学校 183%	各所属で年間3回以上開催	24	H24新規
72	精神科医等による相談事業やメンタルヘルスマネジメントセミナー等の実施	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		
73	特定健康診査・特定保健指導への積極的な対応による教職員の健康の保持増進	—	—	推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		
74	県立高等学校施設耐震化率	%	46	59	62	73	74	79	98.8%	80	24	
75	小・中学校施設耐震化率	%	48	55	64	77	86	91	107.1%	85	24	
76	「拠点避難所」となる県立学校等の整備を推進	—	—	—	—	—	—	推進	—	推進	24	H24新規
77	スクールガードリーダー委嘱人数	人	24	24	33	24	26	20	45.5%	44	24	
78	防災教育推進モデル校数	校	18	21	24	—	—	—	100%	24	21	目標達成 事業終了
79	「あわ防災推進事業」の実施	—	—	—	—	推進	推進	推進	—	推進		
80	学校における防災教育の充実	—	—	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	全小・中・高・特別支援学校で推進	—	全小・中・高・特別支援学校で推進	24	
81	県立学校における「防災クラブ」の設置	校	—	—	—	—	5	10	100%	10	24	
82	副校長等の新たな職の設置	—	—	設置	推進	推進	推進	推進	—	推進		
83	次期「徳島県教育振興計画」の策定	—	—	—	—	—	—	策定	達成	策定	24	H24新規

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年 度)	進捗状況 (23年 度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値		備考
										年度	年度	
基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現												
84	「“あわ”人権学習ハンドブック」の活用促進と指導内容・方法の改善・充実	-	-	推進	推進	推進	推進	推進	-	推進		
85	人権教育研究校の指定	校	-	8	8	8	8	8	100%	県指定 毎年度4校 文部科学省指定 毎年度4校		
86	「心にひびく とっておきのエピソード」への応募作品数	作品	-	-	1,544	4,108	7,316		(121.9%)	6,000(累計)	23	平成23年度 事業終了
87	「ありがとうを伝えたい「私からの手紙」」への応募作品数		-	-	-	-	-	5,064	168.8%	3,000	24	H24新規
88	中・高校生による人権交流集会への参加者数(累計)	人	542	1,047	1,527	2,050	2,466	2,878	95.9%	3,000(累計)	24	
89	生涯にわたる人権教育の学習機会の充実	-	-	推進	推進	推進	推進	推進	-	推進		
90	「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」の派遣回数(累計)	回	-	-	-	17	43	51	141.7%	36	24	
91	人権教育指導員の派遣回数(累計)	回	327	722	1,039	1,349	1,636	1,880	104.4%	1,800 (累計)	24	
92	社会教育における人権教育推進者の養成数(累計)	人	51	108	171	228	280	333	104.1%	320 (累計)	24	

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年 度)	進捗状況 (23年 度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値		備考
											年度	
基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現												
93	生涯学習情報システム指導者・団体新規登録数(累計)	件	—	—	—	—	54	100	166.7%	60	24	
94	「とくしま学博士」の認定や人材登録制度の創設、地域における生涯学習のリーダーの育成、地域に貢献できる人材の有効活用	—	—	創設 推進	推進	推進	推進	推進	—	推進		
95	文化の森と四国大学、徳島大学及び鳴門教育大学との連携による学芸員養成科目の開講		—	—	—	—	—	開講	達成	開講		H24新規
96	文化の森各文化施設入館者総数(累計)	万人	1,390	1,463	1,546	1,626	1,702	1,772	98.4%	1,800(累計)	24	
97	とくしまネットワーク図書館の構築	—	—	推進	推進	構築	運用	運用	(達成)	構築	22	平成23年度 運用開始
98	市町村立図書館等への貸出冊数	冊	—	—	—	—	67,141	89,833	112.3%	80,000	24	H24見直し
99	図書館企画事業数(累計)	回	—	—	—	190	263	324	115.7%	280	24	
100	学校の授業への講師派遣回数(累計)	回	—	—	—	90	121	159	122.3%	130	24	H24見直し
101	鳥居龍蔵記念博物館の開館	—	—	整備	整備	開館	→	→	(達成)	開館	22	平成22年11月 開館
102	ミュージアムネットワーク連携機関数	機関	—	—	—	2	3	5	100.0%	5	24	

点検・評価項目（「教育振興計画」重点事業） 平成24年度 実績値等一覧表

番号	事業名	単位	実績値 (19年度)	実績値 (20年度)	実績値 (21年度)	実績値 (22年度)	進捗状況 (23年度)	進捗状況 (24年度 未現在)	達成率 (24年度 未現在)	目標値	年度	備考
											年度	
基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現												
103	「徳島県スポーツ振興基本計画」の見直し	-	-	-	-	見直し	見直し	策定	達成	策定	24	H24見直し
104	「とくしまスポーツ憲章」を制定し、スポーツに親しむ気運を醸成し、「とくしまスポーツ王国づくり」の実現を目指す	-	-	推進	推進	推進	推進	推進	-	推進		
109	総合型地域スポーツクラブの設立数	クラブ	21	25	28	29	31	31	110.7%	28	22	
106	健康づくり実践プログラムの作成・推進	-	-	-	作成	推進	推進	推進	(達成)	作成	21	
107	「とくしまスポーツSHOWデー」実行委員会によるイベント等助成数(累計)	件	10	29	49	70	91	111	123.3%	90(累計)	24	H24見直し
108	鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として推進	-	-	-	-	準備	開校	開校	達成	開校・推進	24	
109	鳴門渦潮高校において中学生が体験する育成プログラムの実施人数		-	-	-	-	-	30	100%	30	24	H24新規
110	鳴門渦潮高校において女子等の開催回数		-	-	-	-	-	3	75%	4	24	H24新規
111	国民体育大会天皇杯順位	位	47	43	40	44	47	45	-	30位台	23	
112	中高連携による競技力向上連携ゾーン数	ゾーン	1	5	13	16				16	22	目標達成 事業終了
113	全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数	-	-	-	-	10	7	8	66.7%	12	24	
114	鳴門渦潮高校の設置	-	-	-	-	整備	整備	開校	達成	開校・整備	24	
116	鳴門渦潮高校においてスポーツ科学機器を活用した科学的な練習の実施人数		-	-	-	-	-	259	86.3%	300	24	H24新規
116	徳島県スポーツ賞の推進	-	-	創設	推進	推進	推進	推進	(達成)	創設・推進	20	
117	文化財マイスター修了生数(累計)	人	18	32	72				(120%)	60(累計)	21	目標達成 事業終了
118	「発見!ふるさとの伝統文化」受講者数(累計)	人	-	-	134	330			(165%)	200(累計)	22	目標達成 事業終了
119	地域の子どもたちを対象とする伝統芸能への取組の支援	-	-	-	-	推進	推進	推進	-	推進		
120	国指定文化財(史跡含む)の指定選定数	地区	9	10	11	12	12	12	92.3%	13	24	
121	勝瑞城館跡整備面積	m ²	0	0	263.20	5,150	10,000	16,046	80.2%	20,000	24	
122	文化財ボランティア養成人数(累計)	人	63	86	107	125	144	149	90%	165(累計)	24	
123	アワコウコ楽マイスター参加者数(累計)	人	82	112	121	221			(138.1%)	160(累計)	22	目標達成 事業終了
124	いにしえ芸術道活用ゾーン数(累計)	ゾーン	-	-	-	4	4	6	100%	6	24	
125	学校への芸術家等派遣回数(累計)	回	132	204	282	357	447	552	106.2%	520(累計)	24	H24見直し
126	国民文化祭の開催に合わせて、文化の森総合公園各館において、関連する企画展等を開催		-	-	-	-	-	開催	達成	開催		H24新規
127	近畿高等学校総合文化祭の開催・参加	-	準備	開催・参加者 6,032人	参加者 367人	参加者 204人	参加者 177人	参加者 146人	達成	開催・参加者 6,000人	20	

注1) 番号の○印は、教育委員会以外の部局の事業、又は教育委員会との関連事業を表す。
 注2) 横の網掛けは、平成24年度新規を表す。

第4章 平成25年度（平成24年度対象） 点検・評価概要（基本方針ごと）

基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現

方針	1 学校・家庭・地域の連携の推進
<p>県民の教育に対する理解を深め、学校・家庭・地域が連携して学校教育及び社会教育の活性化を図るとともに、家庭や地域がそれぞれに求められる役割を十分に果たせるよう、教育力の向上をめざした取組を推進します。</p>	
主な取組状況	
<p>○ 学校・家庭・地域との連携では、家庭教育支援者養成講座、学校・家庭・地域の連携支援スペシャリストの養成、学校サポーターズクラブの設置、放課後子ども教室の実施等に取り組んできました。それぞれの講座等を通して、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動ができる人材の養成、地域の活性化や地域防災の充実に貢献できる人材の養成、地域ぐるみの学校支援体制づくり、子どもの活動拠点づくり等を進めてきました。</p>	
評価	
<p>○ 講座受講修了生が市町村の家庭教育支援チーム等で活動したり、学校サポーターズクラブにより地域による学校支援活動の広がりが見られました。放課後子ども教室では、全県的な広がりが見られましたが、児童数の減少により閉鎖する教室がありました。</p>	
今後の主な取組と方向性	
<p>○ 講座受講生の活動支援の推進、スペシャリストに認定された方の地域に派遣し活用するための体制整備、学校サポーターズクラブの広報等を行い、その他の事業の推進と併せ、学校・家庭・地域との連携を進めていきます。</p>	

方針	2 地域の教育力の活用
<p>地域の人材や教育力を活用して、地域で子どもをはぐくむ活動を推進するとともに、学校評価システムやコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の普及を図り、地域に開かれ信頼される学校づくりを進めます。</p>	
主な取組状況	
<p>○ 地域の教育力の活用については、学校関係者評価の実施、コミュニティスクール推進事業に取り組みました。学校関係者評価では、実施状況や課題等を明らかにするとともに、学校関係者評価の充実に向けて指導助言を行いました。コミュニティスクール推進事業の研究校では、学校と地域をつなぐコーディネーター機能の位置づけ等について研究を推進しました。</p>	
評価	
<p>○ 学校関係者評価の実施率は、96.4%（平成23年度間）となっており、学校・家庭・地域の連携協力の連携協力により学校運営の改善に当たることができる環境が徐々に整備されてきました。コミュニティスクール研究校では、学校運営協議会設置に向けた取組が行われ、各研究校では地域の意見を学校運営に生かした取組ができるようになりました。</p>	
今後の主な取組と方向性	
<p>○ 学校評価の実施状況調査を実施し、成果や課題等を市町村教育委員会及び各学校に周知し、充実改善に向けて指導助言を行います。また、各学校が学校関係者評価を確実に実施するとともに、学校評価結果を広く公表する取組を推進します。</p> <p>○ コミュニティ・スクール実施校での成果や課題等を市町村教育委員会及び各学校に周知し、指導体制や条件整備に向けて指導助言を行います。また、先進校の取り組みについて広報し、教育委員会や教員・保護者の意識の啓発を図り、学校運営協議会設置に向けての取組を推進します。</p>	

方針 3 幼児期における教育の充実

発達や学びの連続性を確保するために、幼稚園と保育所・認定こども園・小学校との連携を推進するとともに、生活の連続性を確保するために、家庭・地域との連携を推進するなど、幼児教育の充実を図ります。

主な取組状況

- 「徳島県幼児教育振興アクションプラン推進事業」を実施しており、その重点施策の一つとして、預かり保育の充実に取り組んでおり、平成21年度に取り組んだ預かり保育に係る調査研究の成果を、各種研修会を通じて県内の幼稚園に普及を行いました。
また、「預かり保育実態調査」を実施し、各市町における実施状況の把握を行い、預かり保育の質的向上を図るため、各市町に対し、指導体制や条件整備についての指導・助言を行いました。

評価

- 「徳島県幼児教育振興アクションプラン」の施策の基本方針「充実した幼稚園教育の提供」の基に、各園での状況について、調査を行い、その状況を市町村教育長会及び園長会等の機会に伝え、預かり保育の充実の推進を図りました。

今後の主な取組と方向性

- 引き続き、「預かり保育実態調査」を実施し、各市町における実施状況の把握を行うとともに、地域や保護者のニーズに応じた預かり保育がより一層推進されるよう、各市町に対し、指導体制や条件整備についての指導・助言を行っていきます。

方針 4 産業界や大学等との連携の推進

地域の事業所や企業など産業界と連携して、子どもたちの勤労観や社会性を養います。
また、大学等との連携により教職員の資質向上のための研修やICTを活用した遠隔指導などの取組の充実を図ります。

主な取組状況

- 子どもたちの勤労観・職業観の育成について、キャリア教育の必要性や取組事例を紹介した「キャリア教育の推進に向けて」を作成し、各校で活用しました。また、職業体験やインターンシップを各校で実施しました。中学校の職場体験の充実に向けては、「小・中学校における体系的・一貫的な進路指導に関する調査研究」（国の事業）に2市において取り組み、小学校と中学校の連携の在り方等を研究しました。

評価

- インターンシップに関する各事業の実施や「小・中学校における体系的・一貫的な進路指導に関する調査研究」の成果の普及等を行いました。インターンシップの実施率及び職場体験の実施率ともに向上してきています。高等学校においては、普通科高校でのインターンシップ実施率は、他に比べると低くなっています。

今後の主な取組と方向性

- 徳島県教育振興計画（第2期）に沿って、「キャリア教育推進協議会（仮称）」を設置し、本県における児童生徒の実態や特性を踏まえ、本県がめざすキャリア教育の方針や育成すべき能力、発達段階に応じた教育内容等を示したキャリア教育推進計画を策定します。また、職場体験やインターンシップのさらなる充実を図ります。

基本方針2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現

方針	1「確かな学力」の育成
<p>基礎・基本の確実な定着はもとより、思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに、少人数学級や少人数グループ指導、ティームティーチングなどきめ細かな指導を進めるなど、「確かな学力」を育成します。</p>	
<p style="text-align: center;">主な取組状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 確かな学力の育成について、「徳島県学校改善支援プラン」（平成19年度末策定）に基づき、各校において「学力・学習状況」改善プランを作成し、成果と課題及び改善策を「学力・学習状況」改善プランに反映させました。また、「家庭学習の手引き」の優れた事例を総合教育センターのホームページに掲載するなどし、各校における「家庭学習の手引き」の作成を支援し、児童生徒の家庭学習習慣の充実に取り組みました。 ○ 少人数学級（35人を上限とする学級編制）を小学校4年生へ拡大しました。また、少人数グループ指導やティームティーチング指導を効果的に行うため、小学校5・6年及び中学校2・3年で25人以上の学級を有する学校に追加教員を配置しました。 	
<p style="text-align: center;">評価</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力学習状況調査の平成24年度の結果において、漢字の読み書きや計算問題の多くで正答率が全国平均を上回りましたが、全ての教科で自分の考えを書いたり、理由や根拠を示して説明したりすることに課題が残りました。また、「授業以外で1日30分以上勉強する児童生徒の割合」で、小学校5年生は横ばいでしたが、中学生2年生では増加が見られました。 ○ 少人数学級編制の拡大により、一人一人に応じたきめ細かな指導を充実させることができました。また、追加教員の配置により、各学校、学年の特性に応じ、少人数グループ指導やティームティーチング指導を効果的に組み合わせるなど、各学校の創意工夫のもと、きめ細かな指導の充実に図ることができました。 	
<p style="text-align: center;">今後の主な取組と方向性</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度からは、「徳島県学校マネジメント・学力向上実行プラン」に基づき、各校においては「学力向上実行プラン」に基づき学力向上を目指した取組を展開します。「学力向上実行プラン」では、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得をより確かなものとするとともに、思考力・判断力・表現力の育成を一層推進するため、市町村教育委員会と連携しながら学力向上に関する取組の充実に図ります。 ○ 平成25年度は小学校1・2・3・4年生及び中学校1年生に少人数学級編成を継続するとともに、小学校5年生への拡大を図ります。 	
方針	2「豊かな心」の育成
<p>道徳教育の充実に図るとともに、自然体験や社会奉仕活動など様々な体験活動や郷土を学ぶ機会を通じて、命を大切に作る心や他人を思いやる心、郷土の伝統や文化を大切に作る心などの「豊かな心」を育成します。</p>	
<p style="text-align: center;">主な取組状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成23年度の本県公立学校におけるいじめの認知件数は344件、不登校児童生徒数は1,019人であり、児童生徒のいじめ、不登校や問題行動等は依然として憂慮すべき状況にあります。 ○ 児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校と高校の一部に配置し、児童生徒へのカウンセリング、保護者及び教職員に対する助言や援助を行えるよう、相談体制の充実に図りました。また、9名のスクールソーシャルワーカーを委嘱して、保護者や学校からの児童生徒の問題行動についての相談に対応しました。 	
<p style="text-align: center;">評価</p>	
<p>○ 全公立小・中学校にスクールカウンセラーが配置されたことにより、相談体制が整備されました。また、生徒指導上の諸問題の解決に大きな役割を果たしています。また、スクールソーシャルワーカーが各関係機関との連携を密にし、児童生徒が置かれた環境の問題に働きかけ、問題解決に結びつけることができました。</p>	
<p style="text-align: center;">今後の主な取組と方向性</p>	
<p>○ 相談件数が増加し、一人当たりの相談時間が限られるが、相談時間の工夫などにより相談体制の充実に努めます。また、児童生徒の問題行動には、教員だけでは対応しきれない場合も見られるので、社会福祉士を派遣し、各関係機関と連携・調整するコーディネートをを行い、児童生徒をめぐる環境の改善を図っていくとともに、公的サービス等の紹介をより進めていきます。</p>	

方針**3「健やかな体」の育成**

子どもが生き生きとした生活を送り、心身共に健やかに成長していくため、学校体育、保健の充実を図るとともに、学校における食育を推進し、子どもたちの「健やかな体」を育成します。

主な取組状況

- 子どもの体力向上に向けて「体力アップ100日作戦!」「子ども体力向上支援プランの策定」等に取り組みました。「体力アップ100日作戦!」では、児童自身が「なわとびを1日100回飛ぶ」「早起きをしてラジオ体操をする」等の目標を立て、100日達成をめざしました。「体力向上支援プラン」の具体的な行動目標として示した「子ども体力向上アクションプラン」を受け、小学校体育授業に専門的指導員を派遣する等の「体力向上スマイル事業」を実施し、体力向上計画に基づく各校の取組を支援しました。

評価

- 「体力アップ100日作戦!」の達成率は、94.6%となっている。取組の定着とともに、成果が見えるようになってきました。全国体力運動能力調査結果では、前回調査(H22)に比べて、全国平均以上の種目が4種目から7種目に増え、体力向上の兆しが見えました。また、「運動が好き」と答えた子どもの割合は、小5男女、中2女子において増加しており、運動好きな子どもが増加しています。

今後の主な取組と方向性

- 本県の課題である「朝食の摂取状況」、「睡眠時間」の改善に向けた目標を取り入れ、取組を家庭や地域に広げ、運動習慣の確立、望ましい生活習慣の形成を図ります。小学校の体育授業に県内プロスポーツ選手の派遣、運動・生活習慣の改善を目標の100日達成をめざした取組、歩数計を活用した取組等を行います。さらに、小学3・4年生を対象に新体力テストの種目を行い、記録の向上や競い合う経験を通して自分の体力に関心をもたせるとともに、スポーツクリニックを通して体力の向上を図ります。

方針**4 特別支援教育の充実**

特別な教育的支援を必要とする幼児・児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握して適切な指導及び必要な支援を行う、特別支援教育の充実に向けた取組を推進します。

主な取組状況

- 平成22年国府支援学校池田分校の本校化及び池田支援学校美馬分校の開校に続き、平成24年4月小松島市にみなと高等学園が開校し、特別支援学校の適正配置が推進されました。
- 発達障害のある生徒に対して専門的な教育を行うとともに、特別支援教育のネットワークの中核となる「みなと高等学園」に、1期生として27名の生徒が入学しました。全生徒による事業所見学・校内実習・現場実習等を計画的に実施し、社会的・職業的自立に向けた授業を行っています。また、県内外から多くの視察等を受け入れました。

評価

- 高等学校段階の発達障害のある生徒の社会的・職業的自立をめざし、大学と連携しながら発達障害の特性に応じた授業の実施や、専門家の協力を得て特別支援学校版の「技能検定」を創設・実施するなど、みなと高等学園独自の教育を実施しています。また、「徳島県発達障害教育研究会」を設置し、みなと高等学園を各高等学校へ情報提供するとともに、全国へ情報発信します。

今後の主な取組と方向性

- みなと高等学園が核となり、高等学校や特別支援学校のネットワークを形成し、みなと高等学園で得た知見を高等学校で活かします。また、特別支援学校のセンター機能を発揮して、小・中学校での指導・支援に活かします。

方針**5 社会の変化に対応する教育の推進**

急速な社会の変化に、子どもたち一人ひとりが主体的に対応できる能力・態度を育成するため、小・中・高等学校における系統的なキャリア教育、環境教育、国際理解教育、情報教育を推進します。

主な取組状況

- 「新 学校版環境ISO」の認証取得校の取組や環境教育に関する資料の情報提供を行い、実践的取組の充実と普及に努め、環境教育をしました。
- 「学校を拠点とした地域国際理解教育推進事業」を実施し、海外からの教育旅行受入による直接交流を推進する7校の指定とICT交流を推進する5校の指定を行い、国際理解教育を推進しました。

評 価

- 環境教育については、「新 学校版環境ISO」に移行したことで、家庭や地域との連携や学校独自の環境学習をより一層深めることができおり、家庭や地域と一体となった環境保全活動が推進されました。
- 国際理解教育では、12校に、韓国、中国、ドイツなどから児童生徒及び教育関係者を迎え、直接交流による国際理解教育の推進を図ることができました。また、ICTを活用し、県立学校において、英語及び中国語によるホームページを作成して情報を発信しました。

今後の主な取組と方向性

- 「新 学校版環境ISO」認証取得校の一層の拡大を図ります。これまでの成果を生かし、エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然を大切に、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に努めます。
- 「グローバルチャレンジ支援事業」を開始し、受け入れと派遣をより一層推進し、児童生徒が体験的に学ぶ機会を充実させ、グローバル人材の育成に努めていきます。

基本方針3 信頼される教育環境の実現

方針

1 活力と魅力ある学校づくり

各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、全県的な高校再編を進めるとともに、「地域の教育・文化の創造拠点」としてのオンリーワンハイスクールの育成、時代の進展や生徒の興味・関心に応じた学科の配置など、活力と魅力ある学校づくりを進めます。

主な取組状況

- 高校再編を推進し、平成24年4月に鳴門渦潮高等学校及び吉野川高等学校が開校し、本県初の「スポーツ科学科」や「食ビジネスク」等の学習がスタートしました。また、平成26年度に貞光工業高等学校と美馬商業高等学校を再編統合して開校する新高校の校名を決定しました。
- オンリーワンハイスクールについては、県立高校と特別支援学校の高等部を対象に希望校を募集し、書類審査及びプレゼンテーション審査により、全国ステージ挑戦枠1校、地域貢献枠7校の実施校8校を選定しました。全国ステージ挑戦枠実施校は、全国に発信できる活動を行い、地域貢献枠実施校は、積極的に地域貢献を進めました。

評価

- 2校を開校するとともに、平成26年度のつるぎ高等学校の開校に向け開校準備委員会を中心に開校準備を進めることができました。
- オンリーワンハイスクール事業では、地域との連携を強化し地域の活性化の一助を担う活動や徳島の活動や情報を全国へ発信でき、今までの成果を生かした学校独自の取組が誕生しました。

今後の主な取組と方向性

- 平成26年4月の「つるぎ高等学校」開校に向けた取組を推進します。
- オンリーワンハイスクールでは、地域を活性化させる取組が誕生しており、さらに「とくしまリーディングハイスクール」の育成を図るため、全国、そして世界を目指しながら、学校独自の取組や研究を支援していきます。

方針

2 私立学校の振興

多様な教育サービスの選択肢を提供するため、私立学校の健全な運営や特色づくりを支援し、公立学校との適切な連携・機能分担を進めます。

主な取組状況

- 私立学校の生命線である「特色づくり」に対する支援として、「輝く私学推進事業」を行い、私立学校の魅力アップや、預かり保育等の子育て支援の充実に取り組み私立学校を支援しました。

評価

- 「輝く私学推進事業」の実施により、私立学校の特色ある教育活動の充実が図られました。

今後の主な取組と方向性

- 私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、延長保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援するとともに、本県私立学校教育の認知度を高めるため、情報発信力の強化を支援します。

方針 3 教職員の資質の向上

優秀な人材を確保するとともに、様々な研修の充実・支援に努めます。また、教員評価のあり方について調査研究を進めるほか、メンタルヘルス対策や健康管理対策等を行い、教職員が安心して教育活動に専念し、その能力を存分に発揮できるよう支援します。

主な取組状況

- 教職員のライフステージに応じた研修を体系的・計画的に実施し、「新たな教育課題への対応」や「専門的な知識や技能の習得」をめざすことにより、教職員の資質の向上を図りました。
- 教職員のコンプライアンス意識の醸成に、取り組みました。校内研修での活用のため、「コンプライアンスハンドブック ケース集Ⅲ」を発行し、各所属に配付しました。夏と冬の「コンプライアンス推進週間」に「eラーニングによるコンプライアンス研修」を実施し、全ての公立学校の教職員が受講しました。
- これまで実施してきた1次予防（予防）、2次予防（早期発見）に加え、3次予防（再発防止）として、メンタル不調による休職等から復帰した教員に対し、新たに「教職員職場復帰支援事業」を実施しました。

評価

- 教職員のライフステージに応じた研修課題を明確にし、それぞれの期間に受講する研修に系統性・連続性をもたせることにより、「受講者が目的意識をもった主体的な研修」とすることができました。また、ライフステージに応じた研修を体系的・計画的に実施することにより、教職員の資質の向上を図ることができました。
- コンプライアンス意識醸成の取組も4年目を迎え、定着しつつあります。各所属における研修の回数は年々増加しており、研修ツールも積極的に活用されました。
- 1次予防から3次予防までの体系化したメンタルヘルス事業を推進できました。

今後の主な取組と方向性

- 各研修が、教育活動に反映され、児童生徒の学びや育ちに役立つよう、研修内容の充実を図ります。また、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、効率的・効果的な研修を実施します。さらに、研修方法、研修内容及び研修体系の見直し・改善等を実施し、教職員の資質の向上に努めます。
- 各所属の実践事例を紹介するとともに、時宜を得たテーマを設定しての資料提供を行います。また、コンプライアンス推進室から講師を派遣して各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図ります。
- メンタルヘルス及び健康管理事業の周知とさらに実態に合わせた体系的な事業推進に努めます。

方針 4 安全・安心な学校づくり

県立学校施設の耐震化を推進するなど、施設・設備の整備を図るとともに、幼稚園や小・中学校の耐震化を促進するため、市町村に対して適切な助言や技術的支援等を行います。

幼児・児童生徒の安全を確保するため、地域住民の参加による学校安全ボランティア活動等の取組を推進するとともに、子どもの防災対応能力の向上を図ります。

主な取組状況

- 学校施設の耐震化、「拠点避難所」となる県立学校等の整備を推進しました。県立学校避難所施設強化・充実事業では、平成23年度は富岡東高校と海部高校をモデル校として整備し、平成24年度は津波浸水が予測される11校を対象として重点的に整備しました。
- 学校安全ボランティア（スクールガード）活動の充実では、市町村にスクールガードリーダーの配置を協力依頼しました。スクールガードの養成に努め、県内小学校校区で、スクールガードが登下校時の見守り活動を実施しました。

評価

- スクールガードリーダーによる見守り活動により不審者情報は減少していますが、依然、報告はされており、今後も見守り活動を強化していく必要があります。また、市町村独自の見守り体制で対応する市町村が増えてきました。

今後の主な取組と方向性

- 県立学校避難所施設強化・充実事業において、太陽光発電装置、屋外LED太陽光照明灯、ろ過装置付き雨水タンク等を、順次、各県立学校に設置していきます。
- スクールガードリーダー連絡協議会を実施し、登下校時の事故防止等について情報交換を行います。また、幼児・児童生徒の安全確保について整備していきます。全ての小学校区においてスクールガードの見守り活動を行い、安全マップの活用や不審者情報の連絡体制の整備を進めます。

方針

5 教育の組織運営体制等の充実

信頼される教育を実現するために、教育委員会の活動状況を点検・評価し、その結果を公表するとともに、新しい職を設置するなど、学校の組織運営体制の充実を図ります。

主な取組状況

- 徳島県教育振興審議会で審議を行い、議会での議決を経て平成25年3月に「徳島県教育振興計画（第2期）」を策定しました。

評価

- 「徳島県教育振興計画（第2期）」の策定により、平成25年度から平成29年度までの本県教育の指針として推進していく準備を整えることができました。

今後の主な取組と方向性

- 「徳島県教育振興計画（第2期）」の着実な実施に向け、県民に理解・共有・参画していただくため、計画の周知を図ります。

基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現

方針	1 学校教育における人権教育の充実
<p>発達段階に応じた人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進めるとともに、幼児・児童生徒が自主的に活動できる機会を設けることにより人権問題の解決に向けた実践力を養い、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進します。</p>	
主な取組状況	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育研究指定校を指定し、発達段階に応じた人権教育の指導内容や指導方法等の実践的な研究を深め、研究成果を公表するとともに、成果の普及に努め、学校教育における人権教育の充実を図りました。 ○ 人権尊重社会の実現に向けた取組として、家族や友人、職場や地域の人たちへの感謝の気持ちや人権尊重の思いが込められたメッセージ作品を学校をはじめ図書館や公民館、隣保館などを通じて、県内に広く募集しました。優秀作品をパネル等の資料にして、県内各地で開催する人権教育・啓発展示で活用しました。 	
評 価	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることができました。また、教職員の人権意識の高揚やPTA研修の充実が図られました。研究発表会の開催等により、人権教育についての成果を広げることができました。 ○ 県内の幼稚園児から大人の方までの作品応募がありました。優秀作品については、「ヒューマンフェスタとくしま2012」、「文化の森人権啓発展」及び県内各地で開催している人権教育啓発展示等、あらゆる機会において展示を行い、社会における人権教育啓発に大きく寄与しました。 	
今後の主な取組と方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ上に研究指定校の研究内容を掲載し、各校での実践に活用できるようにしています。指定校における研究の充実に向けた支援に努め、様々な機会を捉えて研究成果を広め、普及を図っていきます。 ○ 各地域における人権教育啓発展や第65回全国人権・同和教育研究大会をはじめ様々な機会を捉えて作品パネルの展示や貸出を行うとともに、作品集を学校や社会教育施設へ配付し、県民の人権意識の更なる高揚を図り、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるように努めます。 	
方針	2 社会教育における人権教育の充実
<p>生涯学習の視点に立ち、交流会、研究会などの多様な学習機会を展開していくことを通じて人権尊重の意識を高め、学校・家庭・地域が一体となった人権教育を推進します。</p>	
主な取組状況	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行いました。大学との緊密な連携を図る中、3大学5サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施しました。 	
評 価	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権の視点で活動しているサークルを、主に幼児・児童の人権交流活動に派遣し、人権教育のより一層の充実を図るための活動ができました。要請は数多くあったが、サークルとの日程調整に苦慮することがありました。 	
今後の主な取組と方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの活動の成果を踏まえながら、今後も子どもたちとの交流の充実と大学サークルの相互交流に努め、本事業に継続して取り組んでいきます。 	

方針**3 教員の指導力の向上**

各種の研修機会を通じ、人権教育の推進者である教員自身の人権意識を高め、資質の向上を図るとともに、指導力の向上を図ります。

主な取組状況

- 50名の徳島県人権教育指導員を委嘱し、各学校及び市町村教育委員会等が主催する研修会等において、個別人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行いました。

評価

- 豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修等の講師として派遣することで、人権に関する知識・理解を深め、教員の指導力や実践力の向上を図ることができました。

今後の主な取組と方向性

- 様々な人権問題、インターネットによる人権侵害やいじめ問題等に対応できる指導員の選考に心がけるとともに、幅広い研修の要望にも応えられる体制を整える必要があります。人権教育指導員の連絡会においては、今日的な課題についての研修を加えるなどし、指導力の向上に努めるとともに、情報交換を行い、各指導員による研修内容の充実につなげます。

方針**4 社会教育における人権教育推進者の資質の向上**

地域社会における人権教育を推進するため、県内全域にわたる人権教育推進者の養成と資質の向上を図ります。

主な取組状況

- 社会教育における人権教育推進者の資質の向上については、市町村から推薦のあった推進担当者を対象として2日間の継続研修を実施しました。人権の視点でのまちづくりの講演、体験的参加型によるフィールドワーク研修等を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図りました。

評価

- 「社会教育における人権教育指導者研修会」を開催し、講演会や体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図りました。情報共有や意見交換を通して、人権教育推進者の資質の向上と指導力の強化を図ることができました。

今後の主な取組と方向性

- 研修の成果をより深め、広めることができるよう、各市町村の参加者の出席についても働きかけるとともに、体験的参加型研修を実施し、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげていきます。

基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現

方針 1 多様な学習機会の提供

「徳島県立総合高等学校」の開校や関係機関・団体等との連携により多様化・専門化している県民の学習ニーズや社会的要請に的確に応え、だれもが利用しやすい学習情報提供体制を構築するとともに、適切な助言や資料提供などの学習支援を行う相談支援体制の充実を図るなど、生きがいと社会参加につながる総合的な学習支援体制づくりに努めます。

主な取組状況

- 生涯学習情報システムでは、6種類の情報をインターネットを利用し情報提供しました。指導者情報については、「まなびーあ人材バンク」として運用しています。新規登録者を確保するために、徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会生涯学習ネットワーク部会で、県内5大学の教職員に指導者登録を依頼しました。

評価

- 連絡協議会生涯学習ネットワーク部会での取組により、大学の教職員の新規登録者が21名おり、着実に登録者数が増加してきました。

今後の主な取組と方向性

- 生涯学習の成果を還元していくために、講座受講者に新しい指導者としての登録を呼びかけていきます。また、市町村との連携をさらに強化し、地域の指導者と団体・サークルの発掘を行い、新規登録者の増加を図っていきます。

方針 2 学びの環境の充実

県民の学習意欲を高め、時代のニーズに対応した効果的・効率的な学びを実現できるよう、生涯学習関連施設の機能の充実を図ります。

主な取組状況

- 放送大学と連携して「まなびの森」講演会の開催や兵庫県立図書館との交流企画展を実施した。おはなし会や企画展示など、図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用を進めました。
- 県民が「いつでも・どこでも」必要な図書館サービスを受けることができる県立図書館を核とした県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」システムを運用しました。

評価

- 関係機関との連携協力により、県民が興味を持っていると思われるテーマや、時局にあったテーマで企画展示事業を実施することができました。
- 「とくしまネットワーク図書館」システムの運用により、自宅にいながら県立図書館の蔵書の検索・予約ができ、予約した蔵書を最寄りの市町村立図書館等で受け取ることができるようになり、市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会への貸出冊数が増加しました。

今後の主な取組と方向性

- 放送大学との共催事業「まなびの森」講演会、関西圏図書館との交流企画事業として兵庫県立図書館・鳥取県立図書館と共同企画展を実施します。図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用促進に努めます。
- 市町村立図書館等と連携を密にしながら、「とくしまネットワーク図書館」システム利用促進に向けて取り組んでいきます。

方針**3 郷土に根ざした学びの推進**

郷土について多方面から学ぶことは、郷土を誇りに思う心をはぐくむとともに、自分自身の生き方を考えるきっかけともなります。

本県の自然、歴史、文化、人物など、郷土や地域の特性に根ざした学びの場を創出し、郷土への親しみや関心を深めるとともに、学習成果を本県教育の振興と特色ある地域づくりにつなげることのできる生涯学習を推進します。

主な取組状況

- 博物館と学校との連携において、学校からの依頼に応じて、学校での授業に学芸員を派遣しました。授業では、学芸員は教員と協同し、博物館資料を活用し児童生徒の理解を助けるよう支援しました。

評価

- 教室外での観察会等を含む学校の授業に博物館学芸員を派遣し、博物館資料を活用する等により、児童生徒の理解を深めるよう工夫しました。

今後の主な取組と方向性

- 学校教育を支援し、博物館の持つもの・情報・人の資源を活用し、博物館利用者の増加につながるよう事業に取り組みます。

方針**4 生涯学習推進体制の充実**

県、市町村における生涯学習推進体制の充実を図るとともに、社会教育関係団体やボランティア等との連携や生涯学習関連事業の企画、実施にかかわる人材の育成に努め、県全体における生涯学習活動の積極的な展開を図ります。

主な取組状況

- 総合大学校の講師や県民研究員として活躍しうる人材を「とくしま学博士」として認定しました。「女性のためのスキルアップ講座」、「子どもとふれあう子育て講座」等を開催しました。受講者の中から、希望者を「徳島県生涯学習情報システム（まなびひろば）」の人材・指導者情報に登録することにより、県民の誰もが講師依頼をすることができるようにしました。

評価

- 参加者は講座受講、研修、体験学習を通じて自らのスキルアップをはかるとともに、地域における学習リーダーとしての資質を向上させることができました。より多くの受講生の方に指導者として登録していただけるよう働きかける必要があります。

今後の主な取組と方向性

- 講座の充実を図り、講座で学んだ学習の成果を県民に還元していくため、受講者に「まなび一あ人材バンク」の新規指導者として登録してもらえるよう働きかけを行い、指導者の登録者数を増やしていきます。

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

方針	1 生涯スポーツの振興
<p>県民一人ひとりの豊かなスポーツライフを実現するため、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じてスポーツに親しめる環境づくりを推進します。</p>	
主な取組状況	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県スポーツ推進の基本的な方向性を示す新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定しました。 ○ 各競技団体と連携し、競技人口が少なく高校から競技を始めてもトップレベルを目指すことのできるフェンシング、山岳、弓道、ウエイトリフティング、ゴルフ、アーチェリーの実技体験プログラムを実施しました。 	
評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「徳島県スポーツ振興基本計画」に則り、県民スポーツの振興を図ってきました。これまでの成果や現在の課題等を踏まえ、新たな計画「徳島県スポーツ推進計画」を策定し、今後のスポーツ推進の基本的方向性を示しました。 ○ 実技体験プログラムでは、多様なスポーツの中から自らの適性に合ったスポーツへの関心や競技力の向上への期待が培われました。 	
今後の主な取組と方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各市町村、スポーツ関係団体等が緊密に連携・協働しながら、計画に盛り込まれた各種施策を計画的に実施していきます。 ○ 研修会においては、研修内容の充実を図るとともに「地域スポーツ人材活用事業」と連携し研修の機会を増やし、参加者の増加を図っていきます。 	

方針	2 競技スポーツの振興
<p>オリンピックや国内外の大会で活躍するアスリートや指導者が育つ環境づくりを進め、本県競技力の向上を図るとともに、競技人口の拡大と地域の活性化につなげていきます。</p>	
主な取組状況	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳴門渦潮高校が開校し、専門的で効果的な教育設備として「3次元画像動作分析システム」「トレーニング機器」を整備しました。また、スポーツ指定校を中心に、体力診断テストの他に、体育協会、スポーツ栄養士協会等と連携し、総合的な体力診断を行いました。 	
評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 259名の選手の測定を行い、選手及び指導者に体力診断テストの重要性を認識してもらうことができました。 	
今後の主な取組と方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳴門渦潮高校が、スポーツ拠点として、スポーツ科学分析機器を活用した科学的なサポートの実施やセミナー等の開催により、全国大会で活躍できる選手、将来の指導者の育成を図っていきます。 	

方針**3 文化遺産の発掘と継承**

県内所在の文化財についての基礎調査や埋蔵文化財調査を行い、その保護に努めるとともに、文化財を活かした地域づくり・人づくりを推進します。

文化財を単体ではなく、夢のあるストーリーを持つ「群」として捉え、県民の参加・参画と協働を得ながら総合的に活用することにより、文化財を活かした地域づくりをめざす「いにしえ夢街道」の実現に向け、各地域の取組を支援します。

主な取組状況

- 「いにしえ夢街道の構築」において、文化遺産の保存・活用の担い手となるボランティア候補者を募集し、実践的な内容の講座を実施しました。埋蔵文化財センターにおいて、年間6回講座を実施しました。遍路道の国史跡指定を契機にフォーラム等を開催することにより、阿南市・勝浦町におけるボランティアグループの結成を促進しました。

評価

- 修了生の人数は見込よりも少ないが、各地域の文化財保護・活用団体で活動するなど、文化財を活かした地域づくりに貢献できました。

今後の主な取組と方向性

- 関係市町村、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターとの連携を深め、より実践的な講座内容を企画し、実践力を持つボランティアを養成します。また、修了生に、地元の市町村、文化財保護・活用団体等が行う史跡案内やイベント企画などへの参加を促し、活動の充実を図るとともに、活躍できる場を幅広く提供するため、他事業との連携を強化します。

方針**4 学校における芸術文化活動の推進**

学校においては、芸術文化活動を通して、生活に潤いとゆとりをもたらす芸術文化に親しむ態度を養い、豊かな心をはぐくむことが求められています。

そのため、美術や音楽など優れた芸術作品にふれる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組むことのできる環境を整え、学校における芸術文化活動を推進します。

主な取組状況

- 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業－派遣事業－」，「児童演劇地方巡回公演」等や県の事業を活用し、小・中・高・特別支援学校に芸術家等を派遣し、講話や実技披露を行いました。学校と芸術家をつなげるための人材バンクの活用について、さらに周知を図りました。
- 国民文化祭特別協賛事業として、文化の森総合公園各館において、17の企画展及び企画事業を開催しました。

評価

- 事業の周知や伝統文化に関する学習の推進により、実施会場数が着実に増加しており、優れた芸術文化に触れる機会の充実が図られています。

今後の主な取組と方向性

- 一層の事業周知を図り、より多くの学校から本事業の活用希望が出るよう働きかけます。さらに、人材バンクの充実と活用を促すことで、児童・生徒の文化活動のより一層の充実を図ります。